

特集 風水害への備えと行動

昨年、台風7号の影響により発生した平成30年7月豪雨。市内でも、各地で土砂崩れが発生するなど災害の爪あとが残りました。

また、その後の台風21号では、風による影響で、トラック3台が横転する、電柱が倒れる、農業施設などの建物が倒壊するなど、大きい被害が発生しました。

近年多発する大規模な風水害。いざと言ったときに、自分の身を守るために、どのような行動を取ればいいのか、日頃から災害にむけてどのような備えをすればよいのか。

今回の特集で、災害への備えを再確認しましょう。



家族で非常持出品を確認しています。
準備しているものはこれで十分でしょうか？次のページで確認してみましょう。



※この特集は20ページの「市民からのメッセージ」の対象です。

いつもの備えが
もしもに生きる

大雨が降って、避難をしないといけないとき、何を持って、どの道を通って避難所まで行けばいいのでしょうか。何かが起こってから、考えてしまうと、避難や避難準備に時間がかかり、危険が高まります。

また、「避難準備・高齢者避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の情報が来たときにどのような行動をとればいいのか知っていますか。

普段から、「家族で非常持出し品」や、安全な避難経路の確認、防災に関する正しい知識の取得、自治会の防災訓練に参加して、防災意識を高めることで、避難時にスムーズな行動が取れます。

あなたの家に、避難持出用のバッグは置いていますか。ハザードマップの確認や、家の近くの危険箇所を把握していますか。

自分の命、家族の命を守るために今一度確認してみてください。

気象・避難情報

どこで手に入る？

風水害で一番大切なのは情報をいかに早く手に入れるかです。激しい雨を降らす雨雲の接近や、各種注意報・警報、避難情報など、情報を早めに入手することで、行動を早く取れるようになり、身の安全を確保することにつながります。情報は次の各種媒体で入手できます。

携帯アプリやメール



▲Yahoo!防災速報



▲安全・安心メール

Yahoo!防災速報に登録することで、アプリでの通知や、メールで台風情報や避難情報が通知されます。また市の安全・安心メールでも、災害情報を発信しています。

災害時に情報をいち早く入手できるのは、テレビとラジオ。台風情報や気象情報、避難情報が随時報道されます。

また、テレビのdボタンを押せばデータ放送でいつでも情報が手に入ります。

テレビ、ラジオなどのメディア



市、気象庁のホームページ

ここに表示されます



避難情報や台風情報が出た場合、市のホームページの緊急情報欄に表示されます。こまめにチェックしましょう。

出前講座をご利用ください！

市の防災危機管理局では、風水害・地震などの被害想定や、危険性などの説明を行う出前講座を行っています。

防災専門員がわかりやすく、説明を行い、自主防災意識を高め、防災知識の取得につながります。ぜひお気軽にお申し込みください。

【申込方法】

電話で下記まで。

【会場】

申込者で用意してください。

問・申 防災危機管理局

(☎65-6555)



これだけは準備しておきたい！ 非常持出品リスト

避難をしようと思ってから、準備をしているのは避難のタイミングが遅れてしまいます。いつでもすぐに持ってでられるよう、非常持出品をリュックにつめて、すぐに避難できる準備をしましょう。

【リスト】

- 現金○預金通帳○保険証
- お薬手帳○運転免許証
- 携帯電話（充電コード）
- 懐中電灯○携帯ラジオ
- 予備電池○雨具○食料○飲料水○常備薬○タオル
- 筆記用具○救急セット○母子健康手帳○メガネ
- オムツ○ミルク○生理用品○洗面具



長浜市防災危機管理監
山田 昌宏

日ごろから自治会活動などの機会を通じ、防災に対する関心を高めていただいていると思います。

近年の事例で、本市でも大規模災害が起こる危険性が高まっています。

ハザードマップやいろいろな情報を入手いただき、災害から命を守る正しい知識と対応力を日ごろから準備いただくことが「真の安心」につながります。

自分の力で、自分と家族を守りましょう。地域の力で、みんなを守りましょう。日頃からの備えをよりよくお願いします。

